

- STAR-Lite -

- ◆ 設計ツールと連携
- ◆ テスト仕様書作成をシステム化
- ◆ テストスクリプトを自動作成
- ◆ テストを自動実行

1. StarLiteのねらい

1-1. 設計情報の自動取込

1. 設計情報の自動取込により、テスト仕様作成を省力化し、転記時の間違いを防止する。
2. 設計の追加・変更を、テスト仕様に自動反映する。

※一般の機能テストツールでは、作成したテストスクリプトを個別に修正することになります。

1-2. テスト仕様書、テストスクリプトの作成をシステム化

1. 設計情報から、テスト仕様を作成する工程をシステム化する。
2. 画面操作をせずに、テストスクリプトが自動作成する。

※一般の機能テストツールでは、画面操作をして操作を記録することによってテストスクリプトを作成しています。

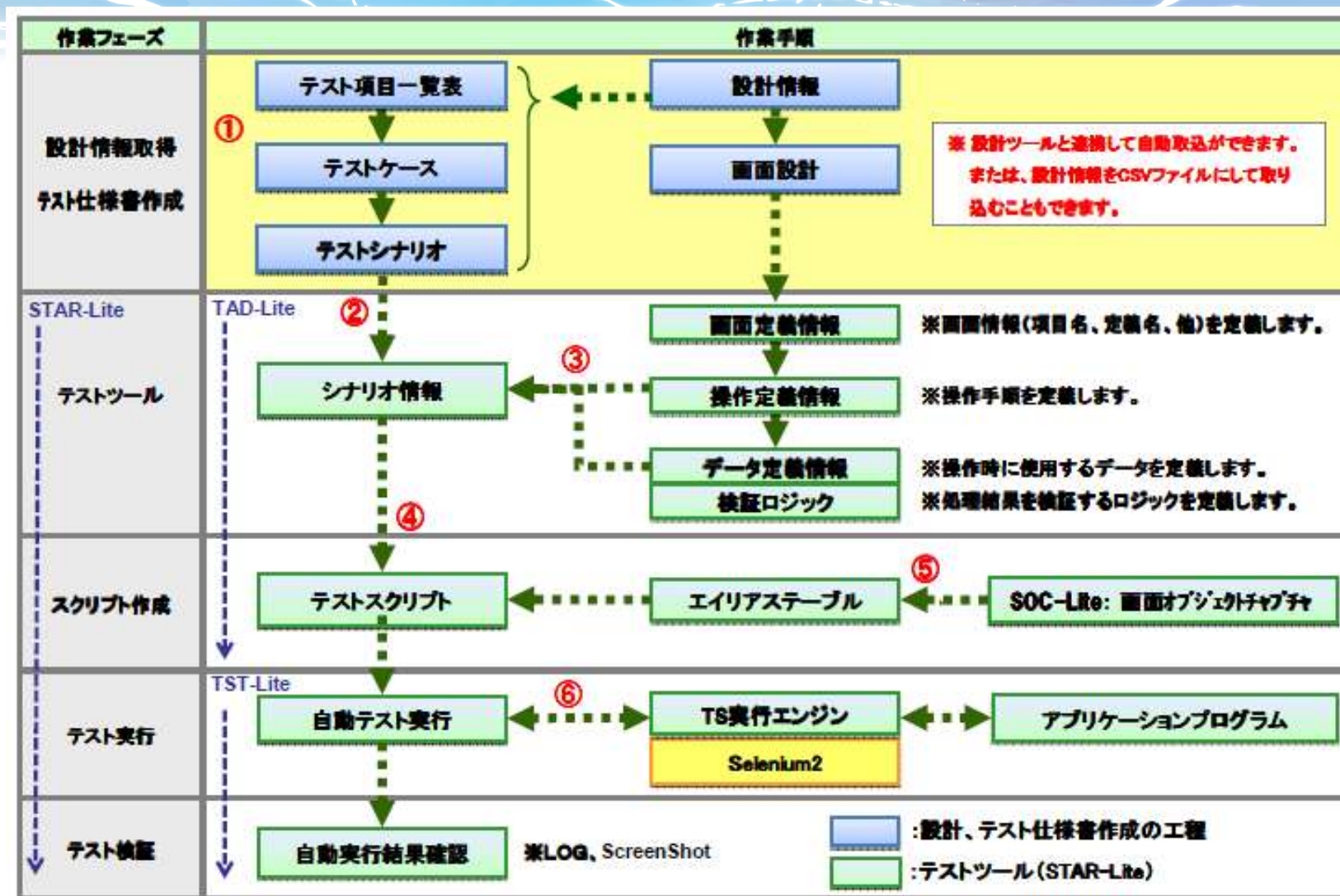
1-3. テストを自動実行

1. 自動作成されたテストスクリプトを使い、漏れの無いテストが短時間で実施できる。
2. システム保守時のリグレッションテストを、確実に実施できる。

※テスト仕様をテスト資産としていますので、テスト資産の維持が容易です。

- ◆ STAR-Liteによって、テスト工程の改革をご支援します。
- ◆ 品質向上と工数削減の実現をご支援します。

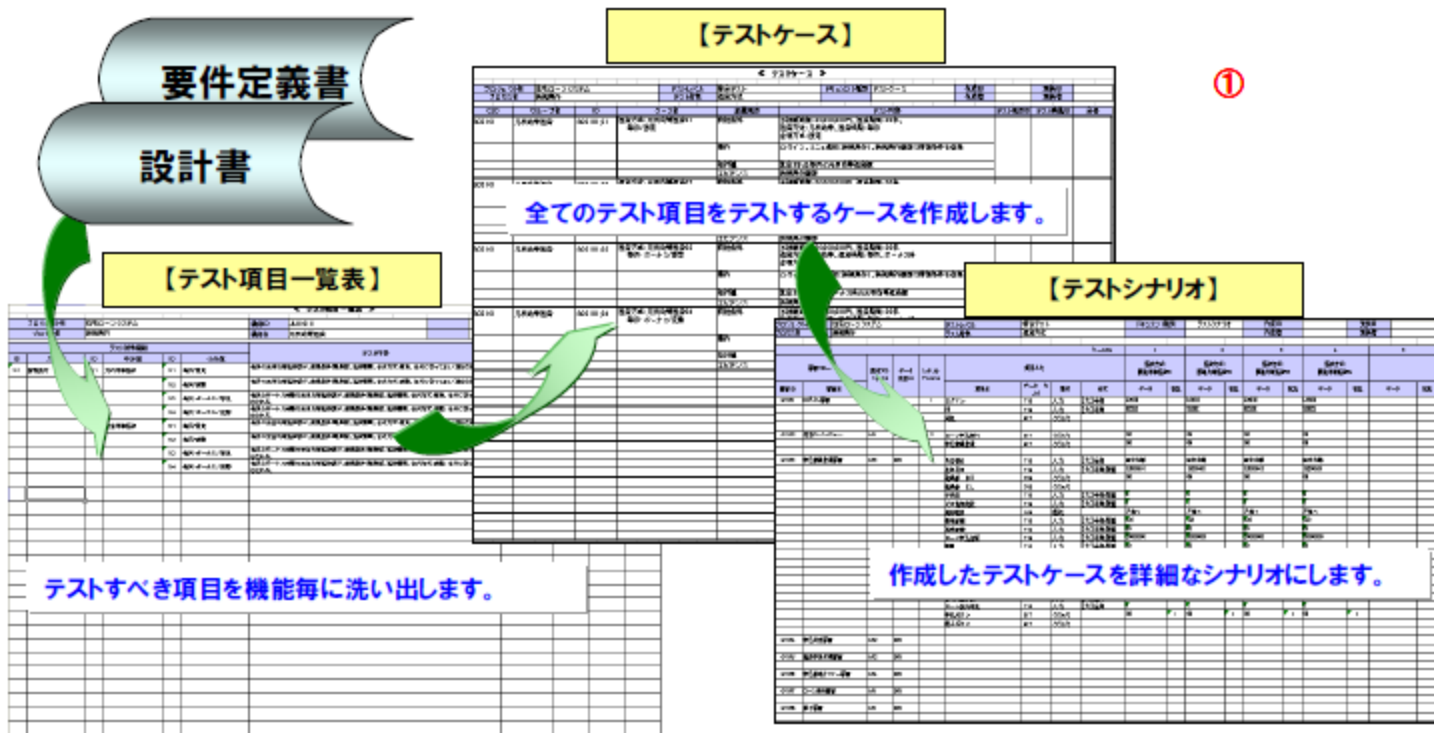
2. StarLiteを使用した革新的テストフロー



テストフロー詳細

①テスト設計工程

- ・要件定義書や設計書から、テスト項目一覧表を作成し、テストケースを作成します。
- ・作成したテストケースから、テストシナリオを作成します。



テストフロー詳細

②及び③テストシナリオ作成

- 作成したテストシナリオと画面定義情報などを取り込みます。
- 操作定義情報、データ定義情報を登録し、シナリオ情報を登録します。



テストフロー詳細

④及び⑤テストスクリプト自動生成

- ・画面のオブジェクト情報を取得してエイリアステーブルを作成します。
- ・テストシナリオとエイリアステーブルからテストスクリプトを自動生成します。



【エイリアステーブル登録】



【テストスクリプト】



テストフロー詳細

⑥テスト自動実行

- ・TST-Lite(ランチャ)は、煩雑な自動テストの**立ち上げ作業を自動化**します。
- ・テストスクリプト読込、エイリアステーブル情報付加、Selenium2機能活用、によって自動テストを実行します。

【TST-Lite(ランチャ)】

EDS実行 期限: 2012/11/30

1. EDS読込 EDS情報変更 2. 実行準備 3. EDS実行 終了

実行ファイル ☐ GroupType
EDS-テスト05-S01-0408.2101.c

Groupファイルリスト

【エイリアステーブル】

エイリアス

【Log: 合否明細】

テスト結果をLogやスクリーンショットで確認できます。

【Log Summary】

テストスクリプトにしたがって、自動テストが実行されます。

Selenium2 Framework

【スクリーンショット】

Starシリーズ活用のベネフィット

データをDBに格納して知識の継承。運用中のテストも楽々。

1. 要件から設計、テスト仕様、テスト結果まで、一環したバージョン、レビジョン管理ができます。
2. 仕様変更時の画面変更情報の取込処理により、テストスクリプトを自動修正できます。
3. 開発者がPG製造作業をしている間に、テストチームはテストスクリプトを作成できます。
4. 画面操作せずに、Selenium2が認識するオブジェクト名を取得できます。
5. 多くのテスト担当者がサーバDBを共有して、自動テスト作業を進めることができます。
6. 当初開発時に作成したテスト仕様、テストスクリプトを資産化し、保守時に確実に活用できます。
7. 技術者は、Selenium2の活用知識がなくても、テストツールを使えます。
8. テスト自動化を促進でき、システムの品質向上と工数削減を実現します。

